

各位

2025年 12月 26日

会社名 株式会社ROBOT PAYMENT  
 代表者名 代表取締役執行役員CEO 清久 健也  
 (コード番号：4374 東証グロース)  
 問い合わせ 取締役執行役員 久野 聰太  
 (TEL 03-5469-5780)

## 「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」 への掲載に関するお知らせ

株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員CEO：清久 健也、証券コード：4374、以下「当社」）は、2025年10月10日に開示いたしました「飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略（事業計画及び成長可能性に関する事項）」の資料の一部が、東京証券取引所より2025年12月26日に公表されました「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」に掲載されましたので、お知らせいたします。当社は今後も、投資家の皆様からのご期待に応えるべく、透明性の高い情報開示及び継続的なコミュニケーションの強化に努めてまいります。

詳細につきましては、以下リンクよりご参照ください。

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/20251226-02.html>

出展：東京証券取引所「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」（2025年12月26日）より

事例5 ➤ ROBOT PAYMENT (1/3)
4374 ➤ 情報・通信業




投資者の声

過去の開示と市場反応を丁寧に分析し、課題を踏まえて成長戦略・開示内容をアップデート。個人投資家との直接コミュニケーションの場も積極的に設けている。このような投資家との対話を重視した取組みが、投資家の企業理解促進や信頼獲得に繋がっている。

**01 過去の開示と株価**

**03 長期経営戦略**

戸上高成長率の低い「つまらない会社」を脱却するために明確な「成長投資の実行基準」を設定する

なぜ売上高成長率が鈍化したのか？

新規事業  
新規事業で立ち上げを行ったものの、十分な効果を実現できず立ち上げを中止する。  
既存事業  
既存事業の成長性が乏しく、人件費、広告費、開発費へ十分な投資を実施できず販売額が伸びない。  
M&A  
M&Aで立ち上げることで新規事業を立ち上げたが、買収会社の株価は堅調に推進していないためM&Aで立ち上げできなかった。  
CVC  
投資案件を複数山積みでしていなかったため、CVC投資を実現できなかった。

成長投資の実行基準

- ① 前年度CFの金額をもとにした資本配分基準の設定  
過去年度CFの金額をもとにした資本配分基準の設定により、CFが減少した場合には投資へ回さず、CFが増加した場合は配分基準を超過する。
- ② 回収期間を明確にした投資判断基準の設定  
回収期間に達しない限り投資を実行せず、一方で回収期間を超過する場合は投資を実行する。

現在までの開示内容と株価の状況について詳細に振り返りを行い、投資家目線を踏まえて課題を把握したうえで、成長戦略をアップデート  
(投資家の期待 # 1)

出所：株式会社ROBOT PAYMENT 飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略（事業計画及び成長可能性に関する事項）（2025年10月10日）<https://www2.jpx.co.jp/disc/43740/140120251009571170.pdf>

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

26

**03\_長期経営戦略**

①前年営業CFの金額をもとにした資本配分基準

利益重視の方針に沿って暗黙に運用されていた資本配分基準では、成長投資をほとんど実行できなかったそのため、明確な前年営業CFの金額をもとにした資本配分基準を新たに策定

**ROBOT PAYMENT**

**03\_長期経営戦略**

②回収期間を明確にした投資判断基準

明確な基準に沿って投資判断を行う

	投資判断基準
新規事業	単年営業CFが黒字化する年数：5年以内 累計営業CFがプラス転換する年数：10年以内
既存事業	単年営業CFが黒字化する年数：3年以内 累計営業CFがプラス転換する年数：5年以内
M&A	累計営業CFがのれんを回る年数：のれん償却年数以内（基会5年） のれん：純資産の40%未満
CVC	含み益が投資金額を上回る年数：5年以内 投資対象：当社事業とのシナジー効果があるもの

※当社はビジネスモデルおよび財務体質上、財務分析の妥当性を有しているため、純資産を元にした投資の妥当性はない。

出所：株式会社ROBOT PAYMENT 飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略（事業計画及び成長可能性に関する事項）（2025年10月10日） <https://www2.jpex.co.jp/disc/43740/140120251009571170.pdf>

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

27

**ROBOT PAYMENT 個人投資家 決算質問会**

2025.11.18

**Q&A**

10月の月次の成績率が低下していますが、一時的なものでしょうか？  
原因と今後の成長性について教えてください。  
【回答者：野野】

**2025年12月期第3四半期 個人投資家決算質問会 質疑応答の要約**

株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員CEO：清久 健也、証券コード：4374、以下「当社」）は、2025年11月12日（水）に開催した2025年12月期第3四半期決算に随連して、2025年11月18日（火）に個人投資家決算質問会を行いました。その際に投資家の皆様からいただきましたご質問について、回答をまとめましたのでお知らせいたします。

なお、決算質問会のQ&A動画については以下よりご覧ください。  
<https://youtu.be/Qbgjz7qeI4>

**【Q1】**当社にとって、M&Aの成功とはどのように定義されるのか。相手企業の株式を何パーセント取得することが成功と考えているのか。

**[A1]**（執行役員COO 藤田）当社では、株式を何パーセント取得すればM&Aが成功といえるのかという定義は設けておりません。判断基準としておりますのは、長期経営戦略で掲げている「5年間でのれん償却以上のキャッシュフローを回収できること」であり、まずはこの基準をクリアしていることが前提となります。

そのうえで、回収の仕方にいくつかのパターンがあると考えております。5年間を均等に回収するケースよりも、後半に向け伸びる形で回収できる方が、継続的に利益を生み出す状態がぐるら、成功度合いは高いと判断できます。一方で、後半伸び型はリスクも高くなるという考え方でございます。ただし、いずれの場合も「5年間」という期間が一つの基準となる点は変わりません。

この基準を最終的にクリアしていくことで、当社の投資余力はさらに確保され、追加的なM&Aや、より規模の大きなM&Aにも取り組めると考えております。したがって、株式の取得割合で成功を判断しているわけではなく、「償却期間内に回収できること」、そして「償却後に継続的な利益を創出できること」を成功の基準としております。

出所：（左上・左下）ログミーフィナンス公式チャンネル、【2025年12月期 第3四半期決算 質問回数会】ROBOT PAYMENT (4374) IR Live <https://www.youtube.com/watch?v=4JSiln1mMks>  
(右) 株式会社ROBOT PAYMENT 2025年12月期第3四半期 個人投資家決算質問会 質疑応答の要約 <https://www2.jpex.co.jp/disc/43740/140120251125508436.pdf>

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

28

以上

## <会社概要>

- 社名 : 株式会社ROBOT PAYMENT（東証グロース：4374）  
 所在地 : 東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F  
 設立 : 2000年10月  
 代表 : 代表取締役執行役員CEO 清久 健也  
 企業サイト : <https://www.robotpayment.co.jp/>  
 サービス一覧 : <https://www.robotpayment.co.jp/service/>

▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています

メールマガジン

- すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ

- ・登録はこちら：<https://www.magicalir.net/4374/mail/>

#### LINE公式アカウント

- ・主要ニュースリリース（解説コメント付き）、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- ・IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- ・登録はこちら：<https://lin.ee/keiczv9>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ROBOT PAYMENT

担当者名：IR室 菊地

メール：[ir@robotpayment.co.jp](mailto:ir@robotpayment.co.jp)